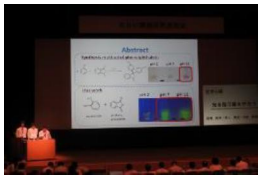
大阪府立泉北高校（総合科学科）
実施している探究活動

泉北における課題研究の取組

チャレンジ精神をしっかりと持つ問題解決能力の高い生徒の育成のプログラムを実施しています。生徒の関心意欲を大切にしながらも、幅広い科学的素養．発信力．倫理観をもつ意欲的な生徒の育成方法を構築しています。企画力や実行力、プレゼンテーション力のupの取組も実施しており、科学者・技術者への能力をはぐくみます。論理的な思考力を学ぶ指導方法が構築されています。



校内での様々な活動

フィールドワーク・サイエンスツアー

学校の中だけでなく、校外に出かけて行って様々な生物に触れたり、研究機関を訪ねることは、学問に対する興味関心を深めることにとっては大事なことです。

毎年、和歌山県田辺市の天神崎に出かけていって、実物の生物を観察しています。『天神崎を守る会』の方に解説をしていただいています。生徒たちは、日本で初めてトラスト運動を開始した経過を学習して参加しており、身の回りの自然をどのようにして守っていけばいいのかも学んで体験しました。（写真　下左）

また、サイエンスツアーでは学校外の研究機関を訪れています。天王寺動物園を訪問した時には獣医の学芸員の方から『動物のエサとウンチ』という内容で講演してもらい、参加した生徒達も日ごろ見学できないことが見れてよかったと好評でした。参加した生徒の感想には、普段聞けないようなお話を聞けて、私が知らなかったことがたくさんあって新しい知識が増やせられることが楽しかった。骨やウンチに実際に触れることができるのがとても嬉しかった。等の感想を寄せてもらいました。（写真　下中）

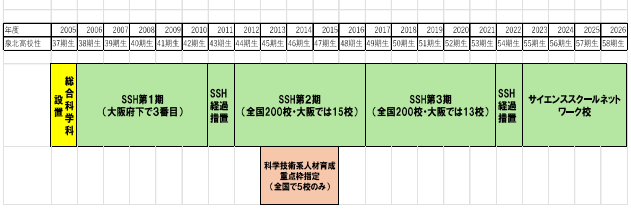
また、『ビーチコーミング』を実施した時には貝塚市立自然遊学館の方に講師をしていただき、様々な漂着物を観察して、生き物の分類を教えていただきました。（写真　下右）

このように、さまざまなことを経験していくことが、自分たちの見識を高めて、科学に向き合う姿勢を学んでいくことにつながります。

地域の小学生向けの実験教室

泉北高校では、総合科学科が設置されて以来20年間、地域の子供向の科学教室を続けています。この事業は小学生に喜んでもらうのはもちろんのことですが、実施する高校生にとっても、勉強になることが多く人気のある行事です。写真は本校で8月に実施した『泉北子どもフェスティバル』の様子です。

本年度は、このほかに堺市教育委員会が主催しているサイエンスクラグの実験の講師、若松台中学校や若松台小学校での科学実験、鳳土木事務所での科学実験などを実施予定です。

これまでの指定経過

泉北高校はスーパーサイエンスハイスクールの指定を第３期まで受けて多くのノウハウを蓄積してきました。これまで取り組んできた内容を精選して、さらなる課題研究の深化を計っています。ぜひ泉北高校で一緒に学びましょう。自分が疑問に思っていることを課題研究として研究対象にしてみませんか。あなたの活躍を応援します。